

在り

本書の内容は、紳士淑女の寫眞と略歴とを掲記することゝしたるが、寫眞を得るに到底不可能の分は、已むなく略歴のみに止めたり。排列の順序は、島津家は年齢順とし、其他はイロハ順に依り、其イロハ中に於ては、次第不同なること勿論なりとす。

書中採録の人物は、大當時本縣に在住せる、本縣並に縣外の紳士淑女に限りたりといへども、時に尙同範圍内の名士淑女を逸したるものあるは、編者の煩る遺憾とする處なれど、編者等劇職の餘暇を以てして、敢て之が編纂に従事し、悉く多數の寫眞と略歴とを蒐集し得たるは、亦尙に聊か誇りとする点なるを信せんと欲す。右記本書に逸せし名士淑女の如き、他日再版の機もあらば、之を増補することとすべし。

略歴は其纂者各々分擔を定めて、執筆したる爲め、文章の形式内容に於て、統一を欠ける點往々にして之れあり。斯くの如きは、共同編纂に於て、亦已むべからざる弊なれば、幸に讀者の諒とせられんことを望む。終りに望み、本書の編纂に際し、多大の同情を寄せられたる大方の人士の厚意と、寫眞製版の爲め尽力せられたる、鹿兒島新聞社製版部日高君の厚情とを、茲に特記して謝意を表す。

大正五年二月中旬

編者 識

# 大 典 鹿 兒 島 縣 紳 士 錄

## 目 次

### 第一 島 津 家

島津長丸男、島津壯之助男(一)島津隼彦男、島津貴暢男、島津忠夫男(二)島津久實君(三)

### 第二 鹿 兒 島 市

伊藤德定君、伊藤賢三君、(四)池田惟貞君、伊地知峻君、飯田巽君(五)岩元信兵衛君、池田嘉六君、市來彦吉君(六)岩切甚藏君、池江喜助君、石原宗吉君、(七)岩切實君、石井元貞君、指宿圭三君(八)伊東惠聰君、伊東武君、池畑德三君(九)石塚時秀君、今村武兵衛君、家村助太郎君(十)池田正義君、岩脇武男君、池端源藏君(十一)井之上平太郎君、指宿近秋君(十二)井口虎次郎君、岩元貞太郎君、今北保君(十三)板村穂之助君、稻松貞一郎君、伊地知隆清君(十四)

花田仲之助君、服部教一君(十五)長谷場敦君、春島東四郎君、服部雄三君(十六)濱田虎太郎君、羽根喜一君(十七)伴善光君、濱田綱孝君(十八)橋本英輔君、濱田瑞庵君、原田吉次君(十九)原田重志君、波江野清右衛門君、原田斌君(二十)服部與次郎君、林徳次郎君(二十一)原田治助君(二十二)

西盛之進君、西田恒文君(二十三)二階堂智行君(二十三)  
本田休之助君(二十三)星山勝美君、堀添壯吉君、堀榮君(二十四)

トの部、鳥丸俊彦君、遠矢幹一郎君、鳥集正一君(二十五)外山貞次郎君(二十六)  
チの部、中馬庄太郎君、中馬和平君(二十六)中馬卯八郎君、中馬德平君、中馬安成君(二十七)  
リ部の部、龍定一君(二十八)  
ヌの部、沼田團太郎君(二十八)  
オの部、大久保利貞君、折田兼至君、大賀雄次郎君(二十九)大窪七之丞君、折田一郎君(三十)奥常次郎君、大野謙次郎君、大井治男君(三十一)岡田龜之助君、小川好知君、沖雄熊君(三十二)小宅新君、大井藤助君、大山格之助君(三十三)大重利助君、大坪岩次郎君、大津邦彦君(三十四)朽木記秀君、小田暢君(三十五)小倉貞亮君、大牟田弘君、大田傳作君(三十六)緒方壯吉君、大礪岩熊君(三十七)

ワの部、渡邊辰雄君(三十七)和田正君、若原貞一君、若松吉二君(三十八)和田仁右衛門君(三十九)  
カの部、加藤好照君、寒河保吉君(三十九)上村慶吉君、上田常芳君、川上助作君(四十)海江田金次郎君、鏡原隼人君(四十一)蒲生清隆君、川上四郎兵衛君、河本軍次郎君(四十二)龜岡慶治君、香川雄太郎君、川村常三郎君(四十三)加藤正直君、兼子鎮雄君、上田平兵衛君(四十四)河本武夫君、河瀬靜君、川邊藤太郎君(四十五)川畑直太郎君、海江田喜三次君、金光秀文君(四十六)金子孫四郎君、川邊惟親君、川邊壯八君(四十七)神田登君、笠茂蘇介君、川西幸義君(四十八)川畑喜之助君、片川彌一君(四十九)

ヨの部、吉田賢龍君(四十九)四本奎之介君、吉永徳次郎君、吉田惟孝君(五十)吉武清君、吉田得藏君、四元傳次郎君(五十一)横山榮三君、吉満市太郎君、横山丑之助君(五十二)  
タの部、高岡直吉君、玉利喜造君(五十三)竹下盛隆君、玉置省吾君(五十四)竹下武松君、田中秀次郎君、田畑鉄平君(五十五)高野精一君、高橋誠一郎君、高原道生君(五十六)田中藤之助君

ツの部、武満雲藏君(五十七)谷村源助君、谷村彦熊君、高崎能敬君(五十八)高島善次君、田中善吉君、竹之内助右衛門君(五十九)田中慶次郎君、谷村藤吉君、竹之内諭輔君(六十)岡崎正太郎君、田島晴雄君、竹内徳治君(六十一)玉川莊次郎君、田原助太郎君、谷山熊次郎君(六十二)染川城助君(六十三)

ナ部の部、津田武君、津曲貞助君(六十三)鶴岡米治郎君、東野通祥君、津隈宏君(六十四)  
ニの部、奈良原繁君、内藤確介君(六十五)永井作次君、永山在徳君、永田市二君(六十六)永井實功君、中村平輔君、内藤普君(六十七)中須憲文君、永田利紀君(六十八)中江佐八郎君、中山多計士君、永山在船君(六十九)中山彦二君、中林長國君、長野祐之君(七十)中川富太郎君、中原麟宏君、中島與市君(七十一)中村茂一君、(七十二)村上純君、村田豊作君(七十二)

ム部の部、上野彦太郎君(七十三)宇野規矩治君、鶴木健彦君、宇宿行夫君(七十四)宇田貞安君、内田源七君、宇都道夫君(七十五)内野確君(七十六)  
ノの部、野島丹藏君、乘永昌亮君(七十六)野口盛右衛門君、野村柳助君、納留安太郎君(七十七)野上佐太郎君、野上傳衛君、(七十八)

クの部、汲田元之丞君(七十八)桑波田景堯君、黒田清健君(七十九)久米田新太郎君、久保良澄君、草野嶽男君(八十)桑波田景明君、久保熊彦君、倉内末正君(八十二)久保勇雄君、久木田加八君、熊野英君(八十二)黒岩正義君、黒岩伊八郎君、久保茂吉君、(八十三)黒田彦八君、(八十四)

ヤの部、山本徳次郎君、山岡國吉君(八十四)山下喜兵衛君、山田準君(八十五)屋代熊太郎君、柳田節君、山野田一成君(八十六)山之内慶治君、山口省吾君(八十七)山田平藏君、山元勇君、

マの部

安田清三君(八十八)山下榮助君、山下正助君、山下源助君(八十九)山口重寛君、山元玄十郎君、山下幸左衛門君、(九十)山元岩次郎君、柳元勝藏君、山口彦兵衛君、(九十一)山口金治君(九十二)

ケの部

町田實一君、(九十二)増田琢磨君、松尾榮一君(九十三)松村吉之助君、松山長門君、益子晋君(九十四)松元壯太郎君、松山一應君、前田直吉君(九十五)牧田靜彦君、町田佐熊君(九十六)松田實夫君、松本俊吉君、牧野多太士君(九十七)松元金治君、前田金助君(九十八)前田左吉君、益田専左衛門君(九十九)

フの部

藤安辰次郎君、淵邊中吉君、藤武喜助君(一〇〇)古川庄助君、藤安吉之丞君、藤武喜兵衛君(一〇一)福崎直太郎君(一〇二)

コの部

兒玉好熊君、河野主一郎君(一〇三)河野庄太郎君、小林新八君、小管伴七郎君(一〇四)小松文雄君、小松實君(一〇五)兒玉直助君、小牧利八君、小村常吉君(一〇六)兒玉東一君、是枝市助君、高良瑞穂君(一〇七)兒玉靜之進君、小牧藤太郎君、小牧德藏君(一〇八)河野正志郎君、小杉嘉之助君、河野庄之助君(一〇九)江口光君、枝元喜之助君(一一〇)

エの部

秋山良三郎君、有馬純俊君、愛甲兼達君、鱈坂貞盛君(一一一)厚地政敏君、青木燐熊君(一一二)有馬九郎君、赤星彌藤次君、赤星明君(一一三)有村文雄君、淺田清八郎君、有川直太郎君(一一四)青木喜之助君、淺野常瑞君、有馬祐太郎君(一一五)愛甲彦壽君(一一六)

アの部

鮫島慶彦君(一一六)鮫島雄介君、坂元平八郎君、崎元彦太郎君(一一七)相良安之助君、鮫島宗幸君、篠本二郎君、(一一八)佐多三友君、佐々木直介君、崎元良夫君(一一九)佐藤茂

サの部

助君、相良仲右衛門君、鮫島照彦君(一二〇)佐藤元次郎君、佐藤清簡君(一二一)堺運吉君、相良熊次郎君、佐藤良之助君(一二二)坂元通雄君、相良宇一郎君、(一二三)木下竹次君(一二四)桐野利義君(一二五)北里貞之君、清田貞一君、桐野拙藏君(一二六)岸野勇吉君、(一二七)

キの部

柚木慶二君、湯前敬介君(一二八)宮里正靜君、(一二九)宮原武熊君、三輪基文君(一二九)三原直記君、水間常次郎君(一三〇)宮之原藤八君、三宅重孝君、宮里正助君、(一三一)新保寅次君、澁谷寛君、重松達一郎君(一三二)白石方徳君、鹽田直太郎君、重久善助君(一三三)篠原熊次郎君、神宮司光徳君、篠原直千代君(一三三)柴田猶次郎君、澁谷國豊君、島名嘉兵衛君(一三四)

ユの部

肥後幸盛君、日高尙剛君、日高藤麿君(一三五)東清輝君、肥後正奇君(一三六)平石壽久君、平原末雄君、平山辰彦君(一三七)東武七君、樋渡正太郎君、平川良武君(一三八)平野俊

メの部

佐久君、樋渡一夫君、肥後宗一郎君(一三九)久永吉之助君、久留市左衛門君、久枝喜之助君(一四〇)

ミの部

門馬豊次君、森三木君、森脇虎壽君(一四一)望月章君、森山昌則君、森田重秋君(一四二)森長保君(一四三)

シの部

關地良性君、瀬戸牛太郎君、(一四四)角野滿君、杉山昌治君、杉本代吉君(一四四)

ヒの部

關地良性君、瀬戸牛太郎君、(一四四)角野滿君、杉山昌治君、杉本代吉君(一四四)

ホの部

關地良性君、瀬戸牛太郎君、(一四四)角野滿君、杉山昌治君、杉本代吉君(一四四)

セの部

關地良性君、瀬戸牛太郎君、(一四四)角野滿君、杉山昌治君、杉本代吉君(一四四)

ソの部

關地良性君、瀬戸牛太郎君、(一四四)角野滿君、杉山昌治君、杉本代吉君(一四四)

スの部

關地良性君、瀬戸牛太郎君、(一四四)角野滿君、杉山昌治君、杉本代吉君(一四四)

第三 各郡部

イの部、

伊藤祐祥君、飯田御代吉郎君、伊集院與輔君(一四五)岩切太郎吉君、入鹿山金次郎君、指宿武彦君(一四六)岩切英三君、岩月直彦君、伊藤宣將君(一四七)市來近君、入部祐廣君、今給黎誠吾君(一四八)猪俣謙四郎君、和泉氏安君、石神今太君(一四九)池江源榮君、指宿貞七君、指宿彦名君(一五〇)池之上甚右衛門君、伊東嘉左衛門君、石踊喜一郎君(一五一)池端清聰君、伊地知半兵衛君、池田彦太郎君(一五二)岩坪助一君、伊集院俊二君、今村矢市君(一五三)池田直五郎君、岩元寬賢君、伊地知重彦君(一五四)岩城尙記君、井上保君、猪鹿倉三郎君(一五五)今給黎慶之助君、岩崎宗茂助君、伊東清助君(一五六)岩下元四郎君、伊地知愛之助君、井手籠莊壽君(一五七)石井儀重君、入來勇吉君、伊地知甚助君(一五八)池袋宗政君、今村密君、石澤盛禮君、岩崎矢熊君(一五九)市來政徳君、飯尾市次君、岩松親愛君(一六〇)

ハの部、

馬場助一君、春田勇吉君、林平作君(一六一)馬場惟光君、花房兼禮君、原田耕夫君(一六二)林八次郎君、林盛吉君、濱島實行君(一六三)馬場藤吉君、橋口勘四郎君、林吉之助君(一六四)萩原彦一君、馬場慶治君、樫山亮則君、橋口兼祥君(一六五)濱田覺一君、原口義温君(一六六)

ニの部、

仁禮明名君(一六六)西村種禮君、西藤靖之君、西原清行君(一六七)西大海君、新納積彌君、新納久君(一六八)二階堂一平君、西田傳次郎君(一六九)

ホの部、

本田親桓君、本田宗五郎君、堀口愛太郎君、堀口一雄君(一七〇)細山田諸太郎君、本田榮

藏君(一七一)

ヘの部、

別府良時君(一七二)別府景貞君(一七三)

トの部、

鳥越定君、唐仁原知方君(一七二)友添佐一君、東郷重茂君、東郷才助君(一七三)堂園義彦君、遠矢軍生君、鳥濱喬俊君、富山辰彦君(一七四)時任市熊君、戸田辰雄君(一七五)

チの部、

知識誠介君(一七五)

オの部、

奥田榮之進君、大山綱任君、小野田祐介君(一七六)尾上賢次郎君、大津大助君、奥龜一君(一七七)緒方小彌太君、大坪友太郎君、小野田吉熊君(一七八)小野田眞介君、大田長市君、折田吉之助君(一七九)小笹清里君、大磯廉君、小原文二君(一八〇)奥田榮次君、大山豊彦君、尾辻彦二君、(一八一)大山勇吉君、小田善市君、小川鐵哉君(一八二)太田周教君、小川源七君、津廿君、(一八三)小田原廣君、岡留源太郎君、小川新左衛門君(一八四)長矩陽君、小利君、尾辻慶二君(一八五)小幡博信君、小原健志君、小田次右衛門君、(一八六)高成三君(一八七)

カの部、

脇田豊麿君(一八七)

ワの部、

海江田準一郎君(一八七)神川長久君、神崎直樹君、海江田要助君(一八八)柏田哲男君、勝田爲成君、鎌田厚君(一八九)加園勝次郎君、勝目實憲君、川越半藏君(一九〇)川原惟生君、梶原規光君、鎌田軍吉君(一九一)樺山源八君、海江田信近君、樺山友重君(一九二)川畑仁五君、川添隆一君、笠毛喜八君(一九三)神田橋勝彦君、川邊豊二君、川畑銀藏君(一九四)川崎龍助君、川崎和夫君、鎌田博君(一九五)神田加一郎君、川崎涉君、河東時盛君(一九六)拵市助君、川邊平八郎君、勝目幸之助君(一九七)片野坂重勉君、川畑千代助君、龜井秀嶺君(一九八)桂徳次郎君(一九九)

ヨの部

吉嶺惠宗君、吉留寛夫君(一九九)吉満義志信君、吉野深志君、吉留伸之丞君(二〇〇)吉峯長作君、米田藤次君、吉井淳吉君(二〇一)米増龍吉君、吉永榮次郎君、吉峯幸之丞君(二〇二)吉峯菊二君(二〇三)

タの部

武満義雄君、高原篤行君(二〇四)谷山國隆君、田野邊主税君、種子田定雄君(二〇四)玉澄哲二君、平福鼎君、竹内三平君(二〇五)田代敬二君、竹迫常範君、高野助作君(二〇六)武崎壯吉君、田中雄吉君、竹内實孝君(二〇七)竹下武彦君、田原淺熊君、田野浩君(二〇八)田上徳之助君、嶽崎種好君、丹宗徳藏君(二〇九)玉利信君、竹下十郎君、田村熊治君(二一〇)田中藤一郎君、種子田秀業君(二一一)

ツの部

曾木幸輔君(二一二)園田兵助君、園中岩七君、園田仁助君(二一三)土持甚左衛門君、水流源君(二一四)

ウの部

永田哲二君(二一五)中尾東陽君、中尾正幹君、永井莊文君(二一四)中山春美君、中村思無邪君、中村敬吉君(二一五)長井彦二君、永井巖君、中山嘉兵衛君(二一六)長野祐榮君、中山正熊君、成尾庄之丞君(二一七)永井實清君、永峯佐一君、中尾廉君(二一八)名越高敏君、永井盛次君、長野文夫君(二一九)中村源五右衛門君、長野雄助君、長井實近君(二二〇)長野村右衛門君、中村清定君、中原菊次郎君(二二一)永山吉次君、長野彦助君、中村重治君、中島万助君(二二二)

エの部

上田義高君、宇都宮休次郎君、上野七太郎君(二二三)上野喜太郎君、上野吉之助君、上山宇平次君(二二四)上山利介君、上野博二君、内倉信夫君、打越省三君(二二五)野村忠二君、野尻八二君、野邊貞吉君(二二六)隈元禎三君、楠田正義君、窪田武洪君(二二七)久木田筑之助君、草野藤吉君、久木田司君

ヤの部

、(二二八)軀川洗心君、桑波田堅助君、隈元定夫君(二二九)久保泰之頭君、久木田重秋君、久木田昌俊君(二三〇)楠元慶藏君、國ノ十善熊君、黒岩慶之介君(二三一)藏調武吉君、桑波田嘉吉君、黒松傳吉君、會田喜之助君、(二三二)

マの部

山本安之助君、山崎來代矩君、山下篤豊君(二三三)柳田武輔君、山本精一君、藥丸直之進君(二三四)山口要吉君、山口正志君、山口醇君、(二三五)山路祐嗣君、山代安質君、山口彌七君(二三六)山口佐次郎君、山口喬樹君、山田有秀君(二三七)山元孝之丞君、山口不二雄君、柳田龍藏君(二三八)山下卓馬君、山下佐吉君(二三九)

フの部

馬野精一君(三四〇)松下實公君、松元道俊君、前田清信君(三四〇)松崎正雄君、松山直二君、町田一平君(三四一)松下齋君、松崎虎之助君、松下彌七郎君(三四二)前田盛也君、松崎矢市君、町田實重君、丸野末二君(三四三)丸山喜八郎君、松本宗愛君、丸山雅成君(三四四)松本操君、前田八束君、前田實徳君(三四五)前田喜藏君、前田利吉君、松下嘉納次君(三四六)松葉悌藏君、松山貫一君、政元太右衛門君(三四七)松田清助君、牧元幸藏君(三四八)

コ

福島美之助君、古川重親君、二川彦八君(三四九)二見嘉次郎君、二見源次郎君、福丸秀樹君(二五〇)福地誠齋君、藤等影君、古江藤二君(二五一)二見八竹君、淵脇猛熊君、古市謙吉君(二五二)二川瀬吉君、藤谷一行君、福山善五郎君(二五三)福永渡次郎君、福島芳彦君、福重半之助君、福島徳之助君(二五四)河野生長君、兒玉領藏君、郡山十太郎君(二五五)兒島茂助君、是技誠介君、兒玉榮壽君(二五六)木場貞義君、古城武重君、木場弘君、(二五七)兒玉意誠君、後藤東園君、上妻宗周君(二五八)小城親友君、木場武二君(二五九)

テの部、寺原竹二君、出口源四郎君、(二六〇)  
アの部、赤塚弘君、有村七太郎君(二六〇)青山鉢助君、有馬純清君、有富清俊君(二六一)鯉坂彌美君、愛甲金吉君、天辰榮熊君(二六二)鯉坂邦惠君、有馬利徳君、淺谷時博君(二六三)鯉坂巖君、鯉坂平太郎君、厚地嗣麿君(二六四)赤塚榮吉君、朝倉悦吉君、荒武信重君(二六五)愛甲直一君(二六六)

●の部、

税所篤秀子、鯉島剛君、(二六六)相良三之助君、佐多操君(二六七)迫田澤次郎君、坂田省三君、佐田平一君(二六八)佐田敬一郎君、佐々木良助君、鯉島一君(二六九)坂口等君、坂元禎藏君、酒匂郁君(二七〇)坂本清光君、坂元良治君、酒匂榮熊君(二七一)坂元靜治君、鯉島甚七君、鯉島新逸君(二七二)西郷十五馬君、坂元丈水君、坂元英三君(二七三)迫田幸太郎君(二七四)

●の部、

肝付兼休君(二七五)肝付忠一君、肝付勇吉君、菊野精三君(二七五)木脇泰二君、北島俊護君(二七六)木佐木源治君(二七七)

●の部、

湯地市之丞君(二七七)  
道岡秀彦君(二七七)水間良兼君、三浦辰之助君、宮里正哉君(二七八)三浦安能君、宮崎宗一君(二七九)三島藤輔君、宮里正芳君、宮里與八君(二八〇)宮原景吉君、宮原直二君、宮内多吉君(二八一)宮原太郎君、宮田暁助君、皆越新助君(二八二)宮之原重君、三浦重安君、宮原稻若君(二八三)

●の部、

志々目藤彦君、白濱重美君、白濱貫以君(二八四)真正琢麿君、白坂惠照君、椎原秀司君(二八五)澁谷龍三君、志々目十次郎君、志々目宏君(二八六)芝國忠君、椎原六矢君、清水清孝君(二八七)芝伊助君、城脇助右衛門君、柴立鐵藏君(二八八)白濱八郎次君、椎原彦二

●の部、

君、篠原東君(二八九)篠原周一君、重信吉十郎君、志摩安彦君(二九〇)島田覺治君、篠原政行君(二九一)

●の部、

枝次正春君、遠藤友也君(二九二)江藤熊男君(二九二)  
日野辰次君、日高彦市君(二九二)肥後靜雄君、樋渡次右衛門君、肥後司馬君(二九三)平田禎君、肥後竹熊君、平山武俊君(二九四)平川慶治君、平川與七君、日高驍君(二九五)肥後元藏君、日高喜一君、平山隼雄君、蛭牟田武彦君(二九六)平田宗文君、肥後了二君、肥後和平君(二九七)日高直二君、日高助次君、久永恕之進君(二九八)平岡良時君、平山武辰君、廣澤吉次君(二九九)肥後榮藏君(三〇〇)

●の部、

森谷八千夫君、森彦六君(三〇〇)本山壽君、森山善雄君、毛利英祐君(三〇一)森常次郎君、森庄太郎君、森田七左衛門君(三〇二)森節義君(三〇三)

●の部、

瀬戸山良敏君、關嘉太郎君(三〇三)關兵之進君、瀬戸口正彦君、瀬戸口權助君(三〇四)杉村清助君、砂泊兼照君(三〇五)末野源藏君(三〇六)



第四 淑 女

- 島津明子の君、島津英子の君(三〇七)島津節子の君(三〇八)
- 入佐とく子の君(三〇八)石神とく子の君(三〇九)
- 中馬まさ子の君(三〇九)
- 大久保中子の君、大坪みね子の君、岡部さく子の君(三一〇)奥とく子の君(三一〇)
- 上村しげ子の君、上田かの子の君(三一〇)
- 種子田すま子の君、竹下須摩子の君、竹下もと子の君、玉利志加子の君(三一〇)
- 永田すみ子の君、長瀬とら子の君(三一三)
- 村田ちよ子の君(三一三)
- 宇宿いよ子の君(三一四)
- 野尻みよ子の君(三一四)
- 山口ゑい子の君(三一四)矢留ます子の君(三一五)
- 町田つとむ子の君(三一五)
- 古賀つゆ子の君(三一五)
- 赤星末子の君、有富さく子の君(三一六)
- 税所文子の君(三一六)税所よし子の君、佐藤こつげ子の君(三一七)
- 宮里ささ子の君(三一七)満田ゆい子の君、神宮司須摩子の君(三一八)
- 森山こと子の君(三一八)
- 瀬川ちも子の君(三一九)

大 典 鹿 兒 島 縣 紳 士 錄

第一 島 津 家

島 津 長 丸 男



男は明治四年九月十八日を以て生れ、始祖尙久氏は宗家十四代忠良公(日新公)の子なり。父は前左大臣、贈従一位島津久光公の二男、久治氏。母は當家十四代久實氏の長女静氏。明治二十九年高等中學造士館を卒業し、明治三十年學習院在學。明治三十年十月二十日華族に列し、男爵を授けらる。明治三十四年九月二十三日、貴族院議員に當選、明治三十七年滿期解任。明治三十九年四月一日、明治三十七八年事件の功に依り、勳四等旭日小綬章を授けらる。尙は島津家獎學資金、地方委員となり、又大正三年十一月十日、大日本武徳會鹿兒島支部副長を囑託せられたり。

島 津 家



島 津 壯 之 助 男

男は明治四年十二月八日生にて、少時家庭教師に就き、漢學並に其他の學問を修業せり。明治四十三年六月十一日、故珍彦男の後を襲うて嗣子となり、現時清水町田之浦に住し居れるが、常に狩獵盆栽等に趣味を有し居れり。